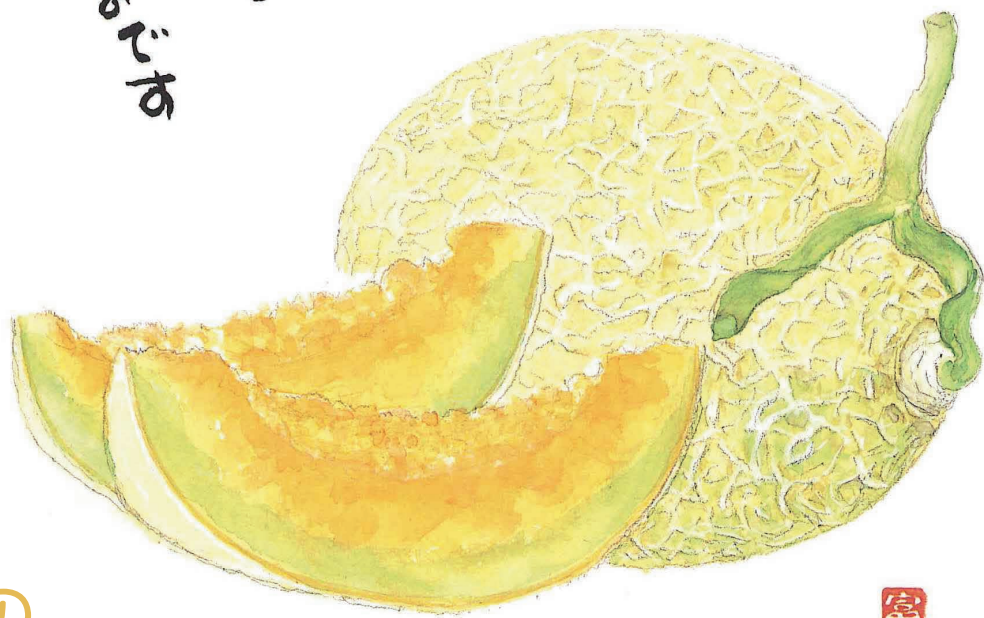


さくらんぼ、ぶどう、まつたけ、いわし、サザエ、、、豚？

ボロを着る火を耕していた
父の田に生かすおぼろだ
おぼろを食べると
どうかがしづかれます
おぼろの種をとりぬ
おぼろの種をとりぬ
おぼろの種をとりぬ



特別展

星野富弘の

おいしい？詩画展

9.16^水 - 12.13^日

※12.14^日は展示替え

開館時間：9:00~17:00

休館日：第2・4月曜日（祝日の場合は翌平日）

※会期中（9/28、10/12、26、11/9、24）

観覧料：一般 500円（400円）

小中学生 300円（260円）

幼児 無料

※（ ）内は20名以上の団体・JAF会員

※障がい者手帳等をお持ちの方は観覧料の半額

※学校による団体利用については割引有り

会場：芦北町立星野富弘美術館

〒869-5563 熊本県葦北郡芦北町湯浦 1439-2

TEL:0966-86-1600 FAX:0966-86-1600

<http://www.hoshino-museum.com>

芦北町立

星野富弘美術館

特別展

星野富弘の

おいしい? 詩画展

星野富弘の描く作品のモチーフはその多くが草花ですが、野菜や果物などの食べものも積極的に取り入れ描いています。幼い頃の最高のご馳走だったあけびや、自らがお店に行き買い求めた房の付いたぶどう、入院中の昼食で出された大きく口の開いたいわしなど、たくさんのおいしいものたちが作品に登場します。本展では、星野富弘の描くおいしい作品群を特集展示します。へっ!? と驚くようなおいしい? 作品もあるかもしれません。是非ご覧ください。



「さくらんぼ」2003年



「ぶどう」1999年

季節の常設展

星野富弘の四季の草花を題材とした詩画作品を展示しています。



「盛夏」1987年

美術館からのお知らせ

●展示室の照明がLEDに!

美術館では作品を保護するため、展示室を照度50ルクスに設定し、展示を行ってまいりました。そのため来館者の方から、展示室が暗い、作品が見づらい等の声がありました。このたび、展示室の照明がLED電球に変わり、照度も高くなり、作品の細かな色彩が浮き出てくるようになりました。作品の印象がまた違って見えるかもしれません。

●次回展示

企画展

「わたしが選んだ富弘さん展」

12/15 函~3/7 回※8回は展示替え

美術館で実施している来館者アンケートの回答結果をまとめ、「好きな詩画は見つかりましたか?」で挙げられる人気作品の数々を展示します。



星野 富弘 (ほしの とみひろ)

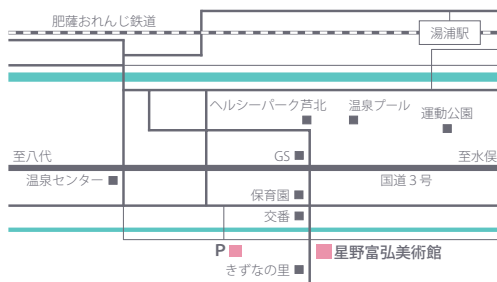
1946年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に生まれる。大学を卒業後、中学校の体育教師になるが、クラブ活動(器械体操)の指導中、模範演技で空中回転したときに誤って頭部から転落。頸髄を損傷し、首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵をかき始める。前橋で最初の作品展を開く。退院後、新聞等に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年、高崎で初の「花の詩画展」を開催。以降、全国各地また海外でも開催され現在も続いている。1991年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に富弘美術館開館。2006年、芦北町立星野富弘美術館開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。著書多数。

ミュージアムショップ

星野富弘『花の詩画集』をはじめ、その他書籍、絵はがき、詩画集カレンダー等さまざまな商品を取り揃えています。観覧料なしでご利用できますので、お気軽にお立ち寄りください。

美術館までのアクセス

○JR九州新幹線「新水俣駅」から肥薩おれんじ鉄道線で「湯浦駅」まで13分/湯浦駅から歩いて15分
○JR九州新幹線「新八代駅」から肥薩おれんじ鉄道線で「佐敷駅」まで5分/佐敷駅からタクシーで10分
○九州自動車道「八代IC」から南九州西回り自動車道「芦北IC」まで30分/芦北ICから15分
○南九州西回り自動車道「水俣IC」から「津奈木IC」まで5分/津奈木ICから15分



※美術館玄関前に、障がい者用駐車スペースがございます。
※バス等の駐車については、美術館までお問い合わせください。



芦北町立

星野富弘美術館

〒869-5563 熊本県葦北郡芦北町湯浦 1439-2
TEL:0966-86-1600 FAX:0966-86-1600
<http://www.hoshino-museum.com>

(姉妹館) 富弘美術館・群馬県みどり市東町草木 96 TEL:0277-95-6333 FAX:0277-95-6100

どうして熊本県の芦北町に星野富弘美術館?

休止されていた星野富弘「花の詩画展」が、1994年の熊本県立美術館での開催を境に再開されます。それが契機となり、その1年後に「星野富弘詩画がある芦北ふるさとギャラリー」が芦北町に開設。以後、交流が続くなかで富弘美術館(群馬県みどり市)の唯一の姉妹館として、2006年に「芦北町立星野富弘美術館」が誕生しました。当美術館は、星野富弘の詩画作品を常設展示しています。皆様には、星野の描く「いのちの尊さ・いのちの輝き」を感じていただければ幸いです。